

ふれあいセンター 絆 落語サロンが始まりました

2月13日、新しい企画「落語サロン」が行われ大盛況のスタートとなりました。きっかけは、ふれあいセンターを利用して月2回、落語のお稽古をされている皆さんに声をかけ落語サロン形式での発表会を打診したところ快く引き受けて頂き開催したものです。

ふれあいセンターでは、いつまでも元気で暮らせる健康づくりの企画を展開しています。ご出演頂いたのは、一丁目の梶村さん、東町内会 中村さん、お師匠さんは温々亭 眞喜子 温々亭 眞喜子こと、松尾さんの3名でお噺しを披露いただき、大笑いのサロンとなりました。

演目は、寿楽亭 こぶし (梶村さん):「壺 算」
秋風亭 いち松(中村さん):「転失気」
温々亭 眞喜子(松尾さん):「ハンドタオル」

開催の目的は、つぎの三点を目的に今後も、3ヶ月に一度の頻度で開催します。

1. 家に引きこもらず気軽に参加できるメニューを充実させる。
2. 健康づくりの一環として笑いの効用を実感してもらうこと。
3. 笑いを通じた参加住民の「つながり」を広げること。



寿楽亭 こぶし さん



秋風亭 いち松 さん



温々亭 眞喜子 さん



25名の皆さんが楽しめました



当日、広島ホームテレビの取材

《2017/02/16:掲載 社協(ふれあいセンター 絆)事務局長 林 裕》